

株式会社サクラクレパス

1. 会社の概要

- (1) 会社名：株式会社サクラクレパス
(英文名；SAKURA COLOR PRODUCTS CORPORATION)
- (2) 所属部会：関西化学部会第1分科会
業種：ペン・鉛筆・絵画用品・その他の事務用品製造業
- (3) 資本金：9,000万円
- (4) 営業品目：絵具，描画材，筆記具
- (5) 企業理念：当社は，1921年（大正10年）に創業し，1925年に「クレパス」を発明以来，一貫して「こころ」のある「色」づくりに携わってきました。すでに描画材料のパイオニアとして，国内のみならず，海外からも高い評価を受けるに至っております。また近年では，総合文具メーカーとして，最先端のオフィス機器・用具から一般的な事務用品に至るまで，多種多彩な商品を製造・販売いたしております。当社は，

We ARE COLORING THE FUTURE

をモットーとして，「こころ」と「色」を通じて，あなたの暮らしを，そして未来をあざやかに彩ります。

- (6) CIマーク



株式会社 **サクラクレパス**

2. 知的財産部門の概要

- (1) 組織上の位置及び名称

知財管理室と称し，統轄本部に属している。



本社ビル

- (2) 構成及び人員

室長は統轄本部長であり，室長を除き，室員は5名で構成されている。

- (3) 沿革

昭和47年11月に本社統轄本部企画部内に特許課が設置され，昭和48年に特許部特許課，昭和58年に総務部特許課と名称を変え，昭和60年に大阪工場内の研究所に所属が変更され，研究所特許課となる。平成8年9月に研究所研究総務課，平成13年9月に研究所知財管理室と名称を変え，平成17年3月に本社統轄本部に戻り，同本部企画部知財管理室を経て，平成18年12月企画部から独立し同本部知財管理室となり，現在に至っている。

3. わが社の知的財産活動

当社のビジネスは，絵具をはじめ，クレパス等の描画材，ゲルインキボールペン等の筆記具等の製造と販売も手掛けるコンシューマービジネスであり，特許・実案・意匠は勿論，商標は

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

重要な資産である。関連企業として、日本国内に絵画教室の「サクラアートサロン」、造形材料の「新日本造形」、スクラップブックの「メモラビリアート」、教育をサポートするe-ビジネスの「エデュース」、消しゴムの「ラビット」、算盤の「雲州堂」等、海外には高級絵具の「ROYAL TALENS」(蘭)、高級色鉛筆の「bruynzeel-sakura」(蘭)、北米の販売拠点の「Sakura of America」(米)、中国の製造・販売拠点の「上海櫻花」等があり、“SAKURA”のCIマークのもと連携をはかっている。知財管理室が知的財産の創造、保護、活用の中核的な位置付けとなっており、不正競争防止法、著作権法、商品化権も活動の対象である。

(1) 発明の発掘と権利化

当社の知財管理室は研究所に所属した時期もあり、現在も綿密に連携しながら、発明の発掘と権利化に努めており、研修機会を設け特許マインドの向上も目指している。

(2) 商標戦略

創業以来、商標「CRAY-PAS」を世界ブランドとすべく、世界各国で登録商標を保有している。昭和59年に世界初の水性ゲルインキボールペンを市場に投入し、海外ブランド

「GELLY ROLL」(国内ブランド；ボールサイン)がこれに続いている。

“SAKURA”のCIマークとともにその権利保護と活用のセンター的な役割を知財管理室が担っている。

(3) 権利活用戦略と模倣品対策

当社は、当然のことながら他人の権利を尊重して特許・実案・意匠、商標の権利取得を推進するとともに、取得した権利を国内外でライセンスしたり、競合する商品に対しては権利行使も厭わない。

また、中国、韓国等で製造され、その国内ばかりでなく北中南米等にも輸出されている模倣品に対しては商標権だけでなく、意匠権、著作権も活用し、場合によっては不正競争防止法等も活用して摘発に努めている。

4. 今後の課題

事業のグローバル化と関連企業との連携強化に伴い、グループ各社の自主独立を前提にして、グループ企業全体での最適な知的財産の情報交換のもと、その管理と活用の強化が課題となっている。

(原稿受領日 2007年4月17日)